

平成30年度 第1回鮫川村再生可能エネルギー推進協議会議事録

- 開催日時 平成30年6月1日（金曜日）午後3時30分
- 開催場所 鮫川村役場2階 正庁
- 構成員の現在数 24名
- 出席した構成員数 19名
- 出席した構成員の氏名
 - ・ 鮫川村議会 星 一彌（議長）
 - ・ 鮫川村議会 北條 利雄（特別委員会委員長）
 - ・ 鮫川村議会 堀川 照夫（青生野地区）
 - ・ 農林漁業団体 森 元良（東白川郡森林組合常務理事）
 - ・ 農林漁業団体 蛭田 昌一（久慈川第一漁業協同組合理事）
 - ・ 関係住民 白坂 伸治（青生野行政区長）
 - ・ 関係住民 堀川信四郎（地元発電事業会長）
 - ・ 関係住民 生田目忠一（青生野桑園組合長）
 - ・ 関係住民 平久江三治（赤小名牧野組合長）
 - ・ 関係住民 鈴木 清孝（江堀牧野組合長）
 - ・ 関係住民 岡部 利雄（青生野牧野組合長）
 - ・ 関係住民 森田 俊栄（反谷地牧野組合長）
 - ・ 関係団体 松本 一治（鮫川村行政区長会長）
 - ・ 関係団体 前田 勝之（鮫川村商工会長）
 - ・ 鮫川村農業委員会 鷺野谷弘行（会長）
 - ・ 鮫川村農業委員会 藤田 浩之（職務代理）
 - ・ 学識経験者 鈴木 治男（地域づくり有識者）
 - ・ 鮫川村 大樂 勝弘（村長）
 - ・ 鮫川村 白坂 利幸（副村長）

○出席した関係者の氏名

- ・ 発電事業者 佐藤 厚範（オリックス株式会社）
- ・ 発電事業者 梅林要二郎（オリックス株式会社）
- ・ 発電事業者 吉田 敦（オリックス株式会社）
- ・ 発電事業者 吉見 隆寛（オリックス株式会社）
- ・ 鮫川村 鈴木 守弘（鮫川村地域整備課長）
- ・ 鮫川村 鈴木 隆寛（鮫川村地域整備課長補佐）
- ・ 鮫川村 中川西幸雄（鮫川村地域整備課環境係長）
- ・ 鮫川村 渡邊 敬（鮫川村農林商工課長）

1 開会【地域整備課長】午後3時30分

2 委嘱状交付【鮫川村長】

鮫川村長から出席者代表【青生野行政区長 白坂氏】へ委嘱状が手渡された。

3 鮫川村長挨拶【要旨】

それでは一言ご挨拶を申し上げます。

それぞれ地区を代表する方、村を代表する皆さんに鮫川村の大きな事業であります、大規模太陽光発電事業成功のため、皆さんの意見を聞きながらこの事業に真剣に取り組んで成功させたい。そういう思いで、本日の第1回再生可能エネルギー推進協議会を開催させていただきました。

青生野地区の太陽光発電事業にお力添えをいただきたいと思います。まず、平成23年3月の東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故により放射性物質の飛散、村全体の採草放牧地が被害を受け使用できなくなってしまい、平成24年度より採草放牧地の除染事業に取り組んだが、青生野地区の広大な牧場は組合員の高齢化、後継者不足等もあり除染事業に着手できず月日だけが流れてまいりました、そんななか牧場跡地の今後の利用について、牧野組合として検討を重ねていたところ発電事業の話があり、地元でも積極的に話し合いが進み、4牧野組合がまとまり平成26年9月に村と議会へ陳情活動をするなど、牧野組合の強い思いがあったが、なかなか発電事業着手までには至らず、さらに検討をしていたところ、オリックス株式会社さんの方から、今回の事業の話があった訳であります。

村としても、大規模太陽光発電事業の成功が、今後の青生野地区や村全体の発展のために必要な事業であることから、農山漁村再生可能エネルギー法に基づき鮫川村再生可能エネルギー発電の促進による農山漁村活性化計画を作成し、所定の手続きがスムーズに進むよう村としても努力していきたい。

委員の皆様の忌憚のないご意見をいただきながら、実現に向けてご協力のほど宜しくお願い申し上げ挨拶に代えさせていただきます。

・出席者紹介【地域整備課長】

協議に入る前に出席の委員さん方に、それぞれ自己紹介をお願いした。

各委員より自己紹介、その後同席者より自己紹介をした。

4 協議事項【鮫川村長】

(1) 鮫川村再生可能エネルギー推進協議会設置要綱について

鈴木課長補佐が配布資料に沿って説明。

追加説明として、協議会設置要綱第13条の規定において事務局は、鮫川村地域整備課に置くことを説明。

質疑は特になし。

(2) 再生可能エネルギー発電の促進による農山漁村活性化基本計画（素案）について

鈴木課長補佐が配布資料に沿って説明。

質疑は特になし。

(3) 大規模太陽光発電事業計画説明について

オリックス(株)吉見課長代理が配布資料に沿って説明。

質疑の概要は次のとおり。

Q： 今後の具体的なスケジュールは？【学識経験者 鈴木氏】

A： 約1か月後を目処に次回の協議会を設定したい。但し、本事業の設備整備計画の元となる事業自体のデューデリジェンスを同時並行で実施する必要があり、実施状況に引きずられてしまう。当然

ながら3年ルールとの兼ね合いもあるので、なるべく急ぎたい。【オリックス（株） 吉見氏】

Q： 農地転用の許可の蓋然性とスケジュールは？【久慈川第一漁業協同組合 蛭田理事】

A： 先ずは鮫川村が基本計画を策定し、それに沿った形で策定した設備整備計画を福島県に諮る。一概には言えないが、協議会での議論に半年、県の審査に半年で計1年くらいが基本線。急いでも3か月に縮まるという事はないので、1年を目標としたい。【オリックス（株） 吉見氏】

Q①： 鮫川村はいつ頃までに基本計画を策定できるのか？【鮫川村議会 北條氏】

A①： 計画につきましては、二回目の協議会開催までには素案という形でお示ししたいと考えております。【地域整備課長補佐】

3年ルールの絡みもあるから、なるべく早く次回を開催したい。7月下旬頃には出来るかな？

【鮫川村長】

デューデリ次第なので、明言は出来ないが、なるべく急ぎたい。【オリックス（株） 吉見氏】

Q②： オリックスは今回のような先進的な事例は経験あるのか？【鮫川村議会 北條氏】

A②： 北海道知内町（24MW）で経験あり。（①の質問に関連して）基本計画は市町村側で作成してもらうことになるが、基本計画も理念的な内容なので、内容自体はそこまで難しくはない。【オリックス（株） 吉見氏】

Q： 地域貢献金はどのようなルールがあるのか？【学識経験者 鈴木氏】

A： 売上に対する負担比率で決まるが、ケースバイケースで個別案件の採算次第。

本件は、スケジュールと38kmにわたる自営線の問題があり、採算的にはかなりギリギリ。

資料記載した地域貢献金の数値はあくまでも目安とご理解頂きたい（おそらく上限となる）。【オリックス（株） 吉見氏】

Q： 自営線は地下に埋設するのか？【久慈川第一漁業協同組合 蛭田理事】

A： ほぼ全区間にわたって、地下埋設となる予定。【オリックス（株） 吉見氏】

Q： 20年の売電期間の取り扱いはどうなるのか？【農業委員会 藤田職務代理】

A： ケースバイケース。発電事業を終了し、設備撤去・原状回復となる可能性もあれば、電力市場次第では発電事業を継続する可能性も有る。この場で明言は出来ない。【オリックス（株） 吉見氏】

Q： 完成すれば福島県内でもかなり大きい方でしょうか？是非完成させて欲しい。【久慈川第一漁業協同組合 蛭田理事】

A： 当然完成に向けて努力するが、その一方で様々なハードルがあることはご理解頂きたい。【オリックス（株） 吉見氏】

Q： 約200haですが、土地は全部オリックスさんが買うということですか？【農業委員会 鷺野谷会長】

A： 基本的に土地は貸借させていただく。地域貢献金以外で賃貸借に伴う地代を地主さんお支払いするという事になります。【オリックス（株） 吉見氏】

Q： 使わない土地も出てくるという事だよね？【久慈川第一漁業協同組合 蛭田理事】

- A : ご理解の通りで普通に考えると40MWのパネルを敷くのに200haも必要ではない。
当然ながら太陽光発電に向かない土地もあり、現在パネルレイアウトを検討中。
但し、面積が1/3になるからといって、地代も1/3になるというのは少し乱暴な議論と思われるので、地主の皆様とも協議したい。【オリックス(株) 吉見氏】
- Q : 道路の改良も考えられるのか?【久慈川第一漁業協同組合 蛭田理事】
- A : 事業用地に行くまでの道路は現状のものを使用してアクセスすることとなる。【オリックス(株) 吉見氏】
- Q : 完成後の発電所を、観光に活用できないのか?【久慈川第一漁業協同組合 蛭田理事】
- A : できるだけの協力はしたいが、採算性との兼ね合いもあるので、今後の課題としたい。【オリックス(株) 吉見氏】
- Q : 開発する上での環境への配慮は?【鮫川村副村長】
- A : 地成りでパネルを配置することで、土を動かさないような工夫をする。【オリックス(株) 吉見氏】
- Q : なるべく土を動かさないようにしても、残土の処理は必要では?【学識経験者 鈴木氏】
- A : ご理解の通りで、過去の事例を踏まえて、防災管理を行っていく。【オリックス(株) 吉見氏】

(4) 会長及び副会長の選出【地域整備課長】

協議会設置要綱第6条の規定により、委員の互選により選出する旨を説明。

「事務局案を提案されたい」の声あり

「異議なし」の声あり

事務局より、村の農地の有効活用と一次産業振興であることから、会長に鮫川村長を選任の案を提示。

「異議なし」の声あり

鮫川村長が会長に決定した。

つづいて、会長より副会長の指名を行った。

青生野地区や村内全体の活性化であることから、副会長に鮫川村議会議長を選任した。

「異議なし」の声あり

鮫川村議会議長に決定した。

(5) その他

今後の開催予定は、7月、8月、9月の3回程度の開催を予定。次回は7月下旬を想定【大楽会長】

Q : 地域振興策は村全体を指す?青生野地区だけ?【学識経験者 鈴木氏】

A : 青生野地区には地主としての賃貸料が入るので、固定資産税・地域貢献金は村全体の農業振興目的で使用したい。【大楽会長】

5 閉会(会長)午後5時05分